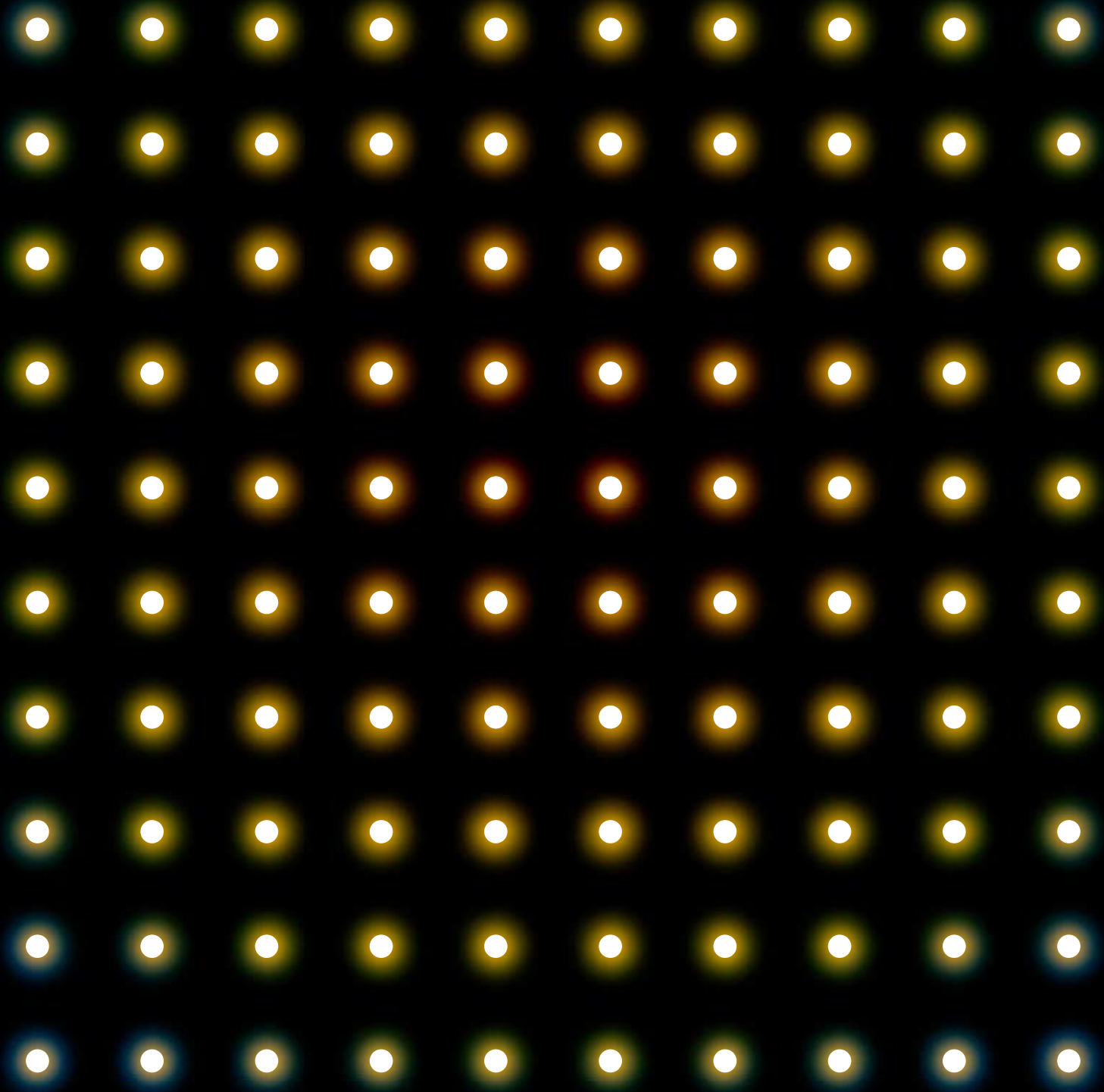


団地 × 街カリア

街に、ルネッサンス





夕暮れ時、人々が家路に着くころ、団地の街灯が灯りはじめます。「お帰りなさい」と迎えてくれる、あたたかい風景。ひかりはまちの表情を創り、人々を包みこんでいきます。

かつて、屋外空間における照明は「安全性、防犯性」の確保を主な目的として考えられてきました。しかし近年ではこれらに加え、そのまちにふさわしい、良好な夜間景観の演出を主として計画することが望まれてきています。

UR都市機構は、人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちづくりに取り組んできました。夜の景観もそのひとつ。私たちは、「あかり」により生み出される良好な景観を、美しいまちづくりに欠かせない重要な要素であると考え、質の高い夜間景観を形成するため、安全性・防犯性を確保しながらも、よりひとにやさしい、あたたかい「あかり」をつくることを心がけています。

本冊では、団地の「あかり」に対するUR都市機構の取組みについて、「潤いのあるあかり」「やすらぎを感じるあかり」「自然を活かしたあかり」「再生するあかり」を中心にご紹介いたします。

3-9	潤いのあるあかり
11-17	やすらぎを感じるあかり
19-25	自然を活かしたあかり
27-28	再生するあかり
29	にぎやかなあかり
31-32	事例紹介
33-34	受賞物件一覧・あとがき



潤いのあるあかり

UR都市機構では、周辺のまちとの調和に配慮し、地形や人の流れ、まちの歴史などを読み解き、地域に根ざした美しい景観の形成に取り組んでいます。夜間においても、団地のデザインや周辺の雰囲気との調和をはかりながら、安全で心地よい照明空間をつくり出しています。建物、街路、サイン、ストリートファニチャーなどを照らすあかりは、つながりながら様々な表情を演出します。UR都市機構がつくる「景観照明」の美しいあかりは、空間に彩りを加え、暮らしに潤いをもたらします。



東雲チャンネルコート CODAN

「新しい時代のまち」にふさわしい夜景

所在地	東京都江東区
管理開始	平成15年
用途	共同住宅 1712戸
照明デザイン	(株)近田玲子デザイン事務所
受賞	北米照明学会賞 Award of Merit 2006 2005年度グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門金賞 平成16年照明普及賞 優秀施設賞

「東雲チャンネルコートCODAN」は、「住むことを、デザインする」をコンセプトに、建築家チーム、ランドスケープデザイナー、照明デザイナー、サインデザイナーとUR都市機構とのコラボレーションにより誕生しました。自由で斬新な空間設計、バリエーション豊かなデザインなど、今までにない発想で新しい住まいの提案をしています。

照明計画は、まちの魅力を光の演出によってさらに印象的なものとするよう、「まち全体の調和」や「まちづくりのコンセプト」を踏まえてデザインしました。新しい時代のまちにふさわしい夜景として、明暗の変化によるメリハリのある空間をつくり、賑わいやアクティビティを演出しました。人の気配が感じられる親しみのあるまち、自分のまちという意識を持てるよう、光源の色をあたたかい色に揃えることにより、まち全体の光の印象が統一化され、美しい夜間景観を形成しています。



ウッドデッキの中庭から住棟を望む



アッパーライトと間接照明で演出した吹き抜け空間



落ち着いたあかりが照らし出す語らいの場



ライトアップした中庭と住棟の「ヴォイド」



光のアクリルキューブを配した緑道



街区中央を走る「S字アベニュー」

プロムナード荻窪

スタイリッシュでありながらスローなあかり

所在地 東京都杉並区
管理開始 平成17年
用途 共同住宅331戸
照明デザイン (有)ライトデザイン
受賞 平成17年照明普及賞 優秀施設賞



間接照明を施した団地内通路

「プロムナード荻窪」は、「周辺環境との調和」、「個性豊かな景観形成」をめざして計画した団地です。敷地内では、ヒマラヤスギやメタセコイヤなどの保存樹木を始め、さまざまな花や樹木がまちに彩りを添えています。この団地では、生活のテーマを「スタイリッシュでありながらスロー」とし、住棟間に花や樹木が並ぶスポットを設け、緑に抱かれたランドスケープを形成、自然と共生する潤いのある街並みを創り出しています。住棟や屋外の照明もこのテーマに沿った計画とし、光源の色をあたたかい色に揃えることで、統一感の取れた、美しい夜間景観を演出しています。駐車場の屋上に設けられた庭園では、共用廊下の光の影響を考慮し、ベース照明は取り付けずに、ベンチ下の間接照明と庭園灯だけで照明計画を行いました。共用廊下から漏れるやわらかいあかりがやさしく降り注ぐ、気持ちのよい空間となっています。

幕張ベイタウンパティオス20番街

パティオ(中庭)に浮かぶ「太陽と月」

所在地 千葉県千葉市美浜区
管理開始 平成14年
用途 共同住宅189戸



立体駐車場の屋上に描いた「月」と「北斗七星」

美しい街並み、スタイリッシュな建物、石畳の街路。『幕張ベイタウン』のまちづくりは都市デザインの具体的なルールである「デザインガイドライン」に沿って進められました。美しい街並みは、優雅なヨーロッパアンティクを醸し出しており、平成11年に、住宅地としては初めて「グッドデザイン賞施設部門 アーバンデザイン賞」を受賞しています。「パティオス20番街」は、『幕張ベイタウン』の中層街区に位置する、口の字型の住棟に囲まれたパティオ(中庭)が特徴的な、沿道型建築のひとつです。パティオの中心に配置した立体駐車場の屋上には太陽と月をイメージした意匠を施し、夜間のライトアップを行っています。ブルーのLEDで描いた北斗七星と共に淡く浮かび上がる太陽と月は印象的で、団地に彩りを添えています。

ヌーヴェル赤羽台

夜景の美しいまちをつくる



所在地 東京都北区
管理開始 平成18年
用途 共同住宅402戸(平成21年3月現在)
照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所

小高い丘の上に建つ「ヌーヴェル赤羽台(1号棟、2号棟)」は、ガラスパネルやパンチングメタルのスクリーンによる、都会的なアーバンホワイトの輝きにつつまれた高層住宅です。見晴らしの良いこの団地は、公園や従前団地から引き継いだ桜並木などの、豊かな自然に囲まれています。照明計画は、「地区のゲートとなる光」、「遠くからも分かる光」、「地区の暮らしをつくる光」、をキーワードに行いました。夜景の美しいまちをつくることで、夜のコミュニティ空間、生活空間を充実させています。

アクティ横浜山下町

アクティブな暮らしを演出するあかり



所在地 神奈川県横浜市中区
管理開始 平成18年
用途 共同住宅108戸
照明デザイン (株)ライティングプランナーズ アソシエーツ

「アクティ横浜山下町」は、レジャーやショッピングが楽しめる、都市の利便性と快適性を備えた横浜ベイエリアに位置しています。まちの雰囲気に良く馴染む、スタイリッシュな外観フォルムの高層住宅です。中庭形式の住棟配置という特徴的な建築構造を、光によって演出しました。周囲を高く囲まれた中庭空間に広がり感や明るさ感を演出するため、月あかり(ムーンライト)をイメージしたスポットライトを、住棟の高所に設置しています。

UR 都市機構がめざすあかり

Column-1



アクティ三軒茶屋

UR都市機構では、「人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースします。」を企業理念におき、良好な景観形成に向けた様々な取り組みを行っています。一般に景観というと、昼間の風景をイメージしがちですが、夜間における良好な景観形成も、美しいまちづくりには欠かせない重要な要素のひとつです。

これまで、屋外空間における照明の目的は「安全性、防犯性」の確保が主であると考えられてきました。しかし近年では、快適な住環境づくりを重要な要素としてとらえ、そのまちにふさわしい、良好な夜間景観の演出を主として計画することが望まれてきています。UR都市機構においても、近年、景観に配慮した照明(景観照明)に積極的に取り組んでおり、景観照明をほどこした地区がいくつも完成し、入居を迎えています。

ひとくちに「景観照明」と言っても、色とりどりのイルミネーションでにぎわう商業施設のあかり、安全・安心で落ち着いたある風景を演出する公園のあかり、ライトアップにより歴史を現在に伝える歴史的な建築物のあかりなど、様々なあかりがあります。私たちがつくる集合住宅=UR賃貸住宅は、たくさんの人が住まうかけがえのない場所です。「やすらぎ」、「だんらん」、「くつろぎ」のための空間。この空間を、団地にお住まいの方だけでなく、その地域にお住まいの方にとっても、少しでも快適なものにすることが、UR賃貸住宅のあかりに求められていると、私たちは考えています。

また、UR都市機構のあかりは、景観に配慮しつつも、安全・安心を確保することはもちろん、環境や省エネルギー、維持管理面にも配慮する必要があります。

きらびやかな施設とは違う、「UR賃貸住宅ならではのあかり」による美しい景観づくりを通じて、都市に活力を取り戻し、人々が快適に暮らせる居住環境を提供していきたい。私たちは、人が輝くまちづくりのために、これからもさらなる努力を重ねていきます。

Interview——照明デザイナー 近田玲子氏

Column-2



住宅の光を考える時にいつも意識するのは、「自分の家」と分かる光をどのように創るかということですね。今は多くの人がドアを開けて玄関の中に入るまで、自分の家に帰ったという感覚はなかなかもてない時代だと思います。

自分の家に向かっているという意識がいつ芽生えて「ほっとする空間」になるのか、「戻ってきた」といって仕事の鎧(よろい)を脱げるのか、ということが大事になります。

駅のホームから「あれは私の家」と思う光が見えれば、その時点でほっとするのではないのでしょうか。

集合住宅では、自分の家の窓明りが点いていなくても、廊下の光や玄関の光、エレベータホールの光が手助けをして、人が暮らしている気配を漂わせることができます。私は景観照明の仕事をする時、建物に光をあてて目立たせるよりも、夕方になったら人の気配がにじみ出てくることが望ましいと思っています。

照明デザインにおいて重要なのは、個別の場所をデザインする前に、その照明をすることがそのまち・都市、そして人々に対してどういう役割を果たす結果になるかということを整理し、まず、まち全体のデザインを考えることだと思います。



やすらぎを感じるあかり

UR都市機構は、美しい景観に配慮し、住む人が愛着を持てるまちや住まいづくりを進めています。夜、やわらかなあかりに照らされて、美しく浮かび上がるまち。自分の家に帰るとき、「お帰りなさい」と迎えてくれるような、ほっとする風景。「ほっとするあかり」、「帰ってきたときにやすらぐあかり」は、UR都市機構が目指す、UR賃貸住宅ならではの「あかり」の姿のひとつです。



アクティ三軒茶屋

都市型居住におけるオープンスペースの光

所在地	東京都世田谷区
管理開始	平成14年
用途	共同住宅523戸
照明デザイン	(有)ライトデザイン
受賞	平成14年照明普及賞 優秀施設賞

「アクティ三軒茶屋」は、自然の地形を活かしながら、緑の森と芝生の広場、緑の遊歩道を整備した、都心にありながら季節の潤いを感じられる団地です。メタセコイヤやヒマラヤスギなどの樹木や雑木林を保存し継承することで、自然環境の保全や再生にも取り組んでいます。

照明計画においては、光が担う5つの効用、「SECURITY(安全・防犯)」、「FRIENDLY(愛着・帰属意識)」、「HARMONY(周辺街並みとの調和)」、「SUSTAINABILITY(持続性・メンテナンス性)」、「COMFORT(快適性)」に配慮し、居住者の方々のみならず、周辺住民の方々からも親しみが持てる夜間景観を目指しました。また、従来のように路面を照らして照度を確保するのではなく、壁や天井面、樹木などを照らして光の景色をつくりだすことに取り組みました。歩く人が心理的に安心できる明るさをつくりだし、あたたかい光が家路につく人々を迎え入れる夜間景観を演出しています。



アップライトで演出したメインエントランス



「行灯」をイメージした階段室



ライトアップされた樹木が並ぶ広場



明るく照らされた住居棟へのアプローチ

アーベイン貝塚駅前

夜のやすらぎ、散策の楽しみを演出

所在地 福岡県福岡市東区
管理開始 平成16年
用途 共同住宅186戸
照明デザイン (株)松下美紀照明設計事務所



薄暮の空に映える住棟

「アーベイン貝塚駅前」は、環境共生をテーマに、天空や周辺住居への光漏れ防止やCO₂の削減など、自然環境に配慮した光環境を提案している団地です。敷地中央に広がる「集いの広場」では、きめ細かく配置された小さな光が、花や木々、植物を美しく照らしています。ベンチの周囲には人が集うための光の溜まりをつくるなど、人がたたずみ、語るための「やすらぎ」を演出しています。また、外周道路、緑道、遊歩道と、集いの広場に向かって光源の高さがだんだんと低くなるように調整し、歩行者の安心感を重視した照明計画とするとともに、緑の表情を取り込んだ光により、散策の楽しみを感じさせる演出を行っています。

ミラリオ大師河原

水と緑と風に戯れるランドスケープ

所在地 神奈川県川崎市川崎区
管理開始 平成18年
用途 共同住宅240戸
照明デザイン (有)ライトデザイン



あたたかく落ち着いた雰囲気の中央広場

多摩川に面した「ミラリオ大師河原」は、自然と四季を楽しむ「環境創造」をテーマに計画した団地です。水と緑と風を居住空間に取り込むランドスケープ計画により、快適な住環境を創出しています。人に優しい光色として、光源にはあたたかい色を全面的に採用しました。住棟共用廊下から漏れるやわらかいあかりを活用し、不快なまぶしさは排除しつつ明るさを確保しています。また、省エネルギー化を図るため、人の動線に沿った機能的な光の配置とし、高効率な照明器具を採用しました。美しく浮かび上がるエントランスや、季節ごとに色が変わる住棟上部のトップライトなど、夜間景観に彩りを添える様々な工夫を凝らしています。

アーベインなんばウエスト

住棟と屋外が調和するあかり

所在地 大阪府大阪市浪速区
管理開始 平成17年
用途 共同住宅252戸
照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所



「アーベインなんばウエスト」では、公園との関係、中央広場との関係、中庭との関係を大事にしながら、個性的で表情豊かな住空間を提案しています。

照明計画は、「我がまち、我が家を示すアドレスとしての光をつくる」、「パブリック空間からプライベート空間への光のシーケンスをつくる」、「タワーパーキングを光のオブジェにする」、「人の暮しが感じられる光をつくる」をテーマに、住棟と屋外の調和を図りながら「憩い」、「やすらぎ」、「親しみ」が感じられるように配慮しました。住棟の中庭空間は、明暗にメリハリをつけ、心地よい明るさとしています。

アーバンラフレ戸田

安全に暮らす・快適に住まうまちのあかり

所在地 埼玉県蕨市
管理開始 平成18年
用途 共同住宅233戸



「アーバンラフレ戸田」は、「いきいき やすらぎ 共に住まう屋外環境づくり」をランドスケープコンセプトに設計した団地です。屋外空間における交流を通じて「共に楽しむ」、共同意識の向上を進めながら「共に住まう」、など、いきいきとした多様な生活スタイルを支える空間づくりを心がけました。照明計画では、「安全に暮らす・快適に住まうまちのあかり」をコンセプトに、暗がりなく、安全な明るさを確保しつつ、光源の色をあたたかい色に統一しています。主要な動線やゲート部にはアクセントとなるあかりを配置しました。また、建物などからのあかりを利用したコンパクトな照明計画により、省エネルギーにも配慮しています。

屋外景観に配慮して(団地の屋外照明の変遷)

Column-3

「陣笠型」照明器具の開発

昭和30年代初期、日本住宅公団(当時)が屋外灯用に開発した、コンクリートポールを使った照明器具、これが通称「陣笠型」と呼ばれる照明器具です。当時そのデザインが好評で、「近代的感覚」の屋外灯が、交通や防犯だけでなく、環境良化にも役立っていると言われていました。当時のトップデザイナーから高い評価を得たという記録も残っています。15Wの蛍光灯を3本使ったこの照明器具は、周囲360度の全方向に光が届くため効率が良く、またコストも割安であったため、長年にわたって使いつづけています。コンクリートのポールは耐久性に優れ、現在でも灯具のみを交換した器具が団地の防犯に役立っています。

汎用照明器具の採用

昭和30年から40年代にかけては、日本住宅公団(当時)が開発した照明器具を使用していました。その後、昭和40年代の終わり頃から、高効率でデザイン性の良い水銀灯の照明器具や、上方に光が出ない下面開放型の照明器具など、メーカーが開発した汎用品を使いはじめました。また、背の高いハイポール照明器具だけでなく、背の低いアプローチライトを組み合わせ、無駄な明かりを出さずに必要な部分にのみ光を当て、効果的な屋外景観を演出するようになりました。



屋外灯(陣笠型)



アプローチライトの例



ハイポール灯の例



景観照明のはじまり

平成以降、安全性に加え、快適性や環境へ配慮する意識が高まり、景観に配慮した照明計画を行うようになりました。単にハイポールとアプローチライトを組み合わせる安全な明るさ(照度)を確保するだけでなく、団地内の基本コンセプトやランドスケープとの整合を図りながら照明計画を明確化し、質の高い夜間景観を演出しています。

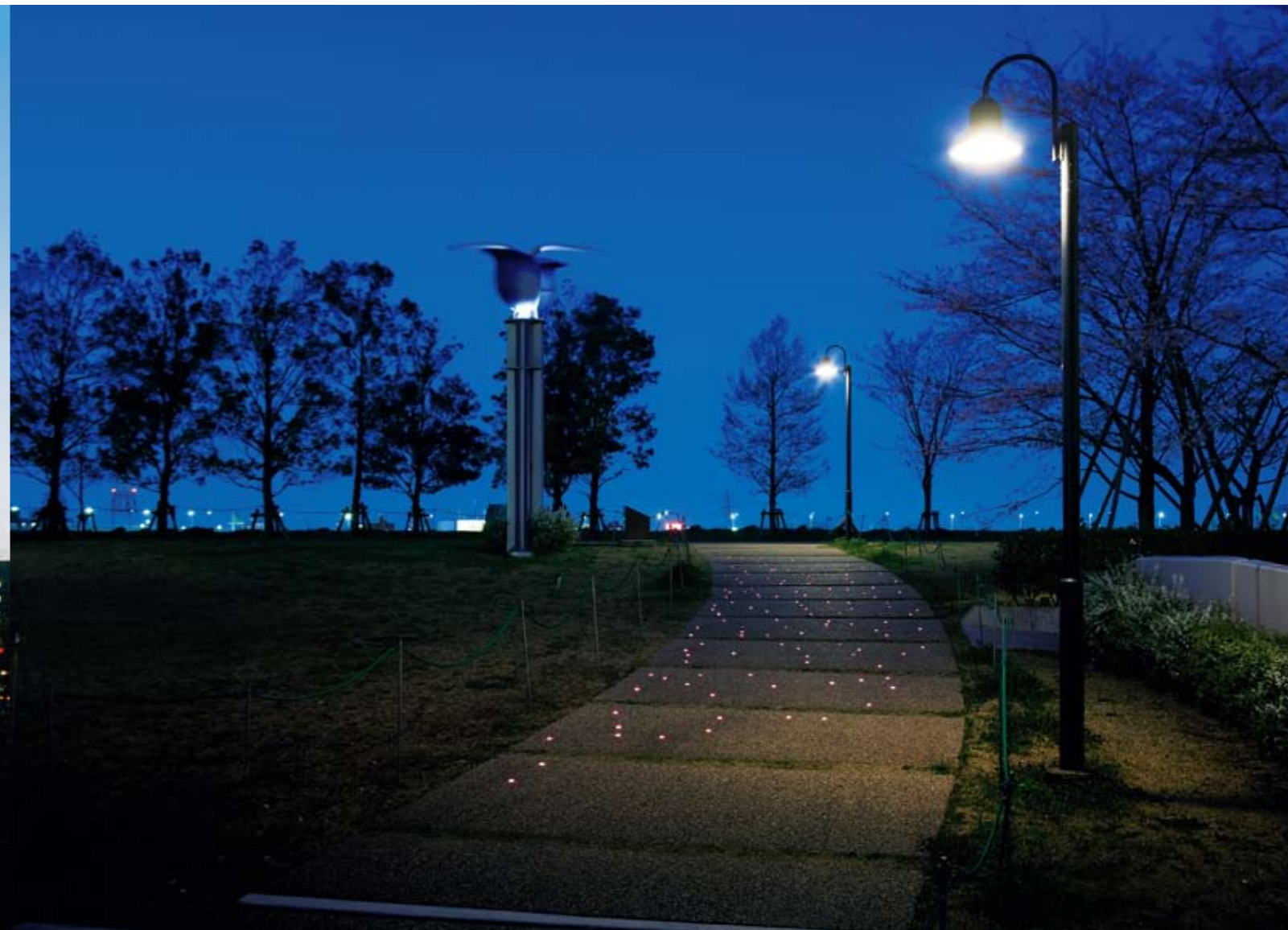


アクティ三軒茶屋



自然を活かしたあかり

都市に緑や水の豊かな自然環境を確保することで、多様な生き物とふれあい、潤いのある生活を楽しむことができます。UR都市機構では、地域の自然と調和したまちづくりを進めています。自然環境に恵まれている団地では、自然と調和した、環境に配慮したあかりづくりを心がけています。あかりを通じて、豊かな緑や水辺などを身近に感じられるように、様々な工夫を凝らしています。



ハートアイランド新田

自然を感じるあかり

所在地	東京都足立区
管理開始	平成16年
用途	共同住宅781戸
照明デザイン	(株)近田玲子デザイン事務所
受賞	北米照明学会賞 Paul Waterbury Award of Excellence 2005

雄大な荒川と、身近な水環境である隅田川に囲まれたまち『ハートアイランドSHINDEN』は、川岸一帯の地盤を広範囲に高くする「スーパー堤防」との一体的なまちづくりにより、リバーサイドの爽快な眺望と開放感を創出しています。

この『ハートアイランドSHINDEN』のほぼ中心に位置する「ハートアイランド新田」では、豊かな水と緑に恵まれた環境を最大限に活かし、人と地球にやさしい「環境共生都市」をめざしています。まちの各所に環境保護に役立つ先進のテクノロジーを取り入れ、UR賃貸住宅で初めて「環境共生住宅団地」の認定を受けました。

照明計画においても「自然を感じるあかり」をコンセプトに設計を行っています。遊歩道には風車で発電した電力を利用するLEDを埋め込んだデザイン照明を設置して「風を感じるあかり」を演出しています。また、水の流れをイメージして、風車の発電により色が変わるLEDを波形に設置した「水を感じるあかり」や、樹木帯（ボスケ）をライトアップした「緑を感じるあかり」など、「環境共生住宅」にふさわしい夜間景観を創出しています。

環境に配慮して

mini Column

UR都市機構は、昭和30年の日本住宅公団設立以来、半世紀にわたって、身近な自然とのふれあい、資源やエネルギーの有効活用、そして安全・安心で快適な暮らしなどの分野において、様々な技術開発を行い、魅力的なまちや住まいづくりを進めてきました。

住棟の廊下や階段、住棟周りのオープンスペースなど、UR賃貸住宅の共用部分で 사용되는電力消費の過半は、照明によって占められています。UR都市機構の照明計画は、省エネルギー性能の高い照明器具を採用したり、安全な明るさ（照度）は確保しつつもゾーン毎に明るさにメリハリをつけ、人通りが少ない深夜の時間帯には、防犯に配慮した機能的な照明を残して一部照明を消灯するなど、安全・安心と景観に配慮しつつ、環境にもやさしい夜間景観づくりを心がけています。

また、住棟内の階段や廊下などの照明については、センサー等を活用した減光制御技術などによる省エネルギー対策を進めています。既存住宅においても、建替えや修繕の機会などをとらえ、省エネルギー性能の高い照明器具への転換を積極的に行っています。



風の強さで色が変わるLED（ふじみ坂）



住棟から眺めるLED（さくら坂）



雨水利用の水路（ふじみ坂）

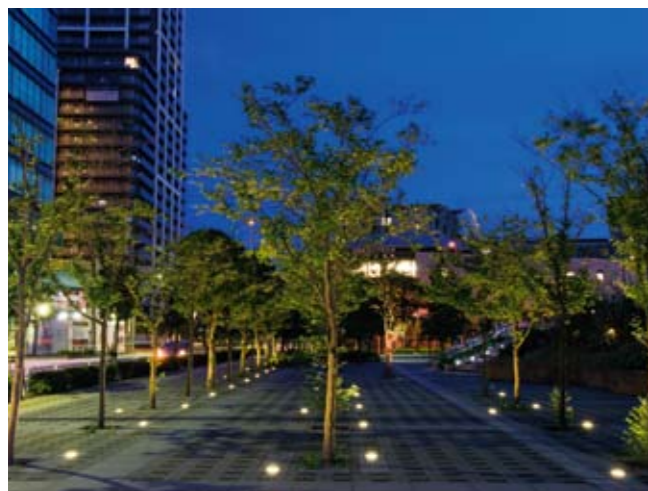


生きものが集まる街角広場

品川シーサイドビュータワー

自然を表現する光

所在地 東京都品川区
管理開始 平成15年
用途 共同住宅805戸



ライトアップされた樹木

「品川シーサイドビュータワー」は、ウッドデッキの遊歩道、緑で彩るビューガーデン(人工地盤上部の庭園)、隣接する品川シーサイド公園など、緑をふんだんに取り入れた環境にある超高層住宅です。

この団地では、緑が豊富で変化に富んだ屋外空間を生かし、都会の中に存在する自然を魅力的に表現する照明計画を行っています。格子状に並ぶ樹木をライトアップした「光の森」や、水が流れ落ちる階段(カスケード)のつくりと、その水のせせらぎ、水により育まれる草花を見せる「水のせせらぎを表す光」などを効果的に配置しています。

「水のせせらぎを表す光」では、階段側面にレンガと同じ大きさのフットライトを配し、カスケードの上部にもフットライトを設け、潤いのある水の流れを演出しています。

シティコート目黒

都心生活を演出するやすらぎのあかり

所在地 東京都品川区
管理開始 平成14年
用途 共同住宅484戸



都会のオアシス空間となる中庭

「シティコート目黒」は、緑豊かな自然教育園(国立科学博物館附属)に隣接する団地です。年輪を経た保存樹木と新たに植えられた多くの樹木を随所に配置することで、駅前でありながら潤いに満ちた、さわやかな住空間をつくりだしています。また、多様化する都市部のワークスタイルに対応するため、プライベートスペース(住宅部分)と、仕事専用のワークスペース(施設部分)で構成されたUR都市機構初のSOHO住宅(施設付賃貸住宅)を供給しています。

照明計画は、光源の色をあたかき色に統一し、まぶしさを極力抑える計画としています。間接照明が柔らかなイメージをつくる中廊下や、プライベートガーデンともいえる落ち着いた雰囲気の庭が、都心生活に上品で洗練された空間を演出しています。

コンフォール上野台

あたたかさをを感じるあかり



所在地 埼玉県ふじみ野市
管理開始 平成18年
用途 共同住宅621戸(平成21年3月現在)

「コンフォール上野台」は、400mもの桜並木のある公園に隣接し、イチヨウ並木などの豊かな緑に囲まれた団地です。住棟のスタイリッシュな外観デザインは、美しく開放的な街並みを創造しています。

団地内の緑地空間「グリーンプロムナード」では、夜間も散策できるように安全性に配慮し、なおかつあたたかさをを感じる照明計画を行いました。外部空間の照明は、住棟からのやさらかな光とあいまって、ゆったり癒される住環境を創出しています。

コンフォール明神台

潤いと癒しを生み出すあかり



所在地 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
管理開始 平成12年
用途 共同住宅1039戸

高台に広がる「コンフォール明神台」は、緑豊かな保土ヶ谷公園に隣接する、緑と空が調和した、落ち着いた雰囲気のある団地です。清潔感のあるカラーデザインを採用し、統一感をもたせた住棟が、美しい街並みを形成しています。敷地内の歩行専用路や広場には、安全性に配慮しつつ、あたたかさをを感じる照明をテンポよく配置しています。シンプルで落ち着いた光環境が、潤いと癒しの空間を演出しています。また、太陽電池を内蔵したブルーのLED照明が、住棟へ帰る人々をリズムカルに誘導していきます。

団地×あかり MAP



Osaka



Nagoya



Fukuoka



再生するあかり

長いときを刻んできた団地の屋外環境には、時代に応じた機能やニーズへの対応が求められています。このため、UR都市機構では、安全・安心・快適な居住環境の維持と、より魅力あるまちや住まいへの再生をめざして、団地環境の改善(リニューアル)を行っています。



立花一丁目

明るくモダンなゲート広場

所在地	東京都墨田区
管理開始	昭和49年
用途	共同住宅1589戸



「立花一丁目」は昭和49年に入居を開始した住戸数1,500戸を越える大規模高層住宅団地です。団地の環境改善のため、「エントランスの改修」や「団地屋外環境のリニューアル」を行うことで、エントランスは明るく生まれ変わり、また屋外空間も見通しがきき、明るくすっきりとした姿になりました。団地の入り口には印象的なゲート型のモニュメントを設置しています。改修により再生された、広々として明るくあたたかな雰囲気のエントランスの照明とあいまって、安全・安心かつ快適で、「我が家の玄関」を感じさせる景観となっています。

江北六丁目

やさしく迎えるエントランスのあかり

所在地	東京都足立区
管理開始	昭和46年
用途	共同住宅860戸



「江北六丁目」は昭和46年に入居を開始した中層住宅団地です。この地区は天長3年(826年)に建立された西新井大師の門前町として栄えた地区で、東武伊勢崎線「大師前」駅から大師まで続く石畳の道は、その頃の面影を色濃く残しています。この団地では、階段室のエントランスの改修を行いました。風除けを設け、明るくきれいに生まれ変わったエントランスにはLEDのダウンライトを設置。夜になると、あたたかいあかりが浮かび上がり、帰宅した人をやさしく迎え入れてくれます。

豊洲四丁目

住棟と屋外を総合的にリニューアル

所在地	東京都江東区
管理開始	昭和54年
用途	共同住宅827戸

「豊洲四丁目」は、昭和54年に入居を開始した住戸数827戸の大規模高層住宅団地です。社会環境や周辺環境の変化に伴い多様化するライフスタイルやニーズに対応するため、「エントランスや通り抜けピロティの改修」や「団地屋外環境のリニューアル」などを組み合わせた、団地の総合的な再生を試みました。照明計画にも工夫を凝らし、団地内に新たに設けられた街角広場や水辺のテラスを生かした計画を行いました。街角広場のモニュメントのライトアップやサイン計画、エントランス改修に合わせた間接照明の採用などにより、新しい住宅に勝るとも劣らない、明るくモダンな、開放感のある夜間景観を形成しています。



柔らかな光を放つ通り抜けピロティ



生まれ変わった住棟エントランス

にぎやかなあかり——施設の景観

多くの人々が訪れる施設のあかりには、人々が住まう団地のあかりとは違った役割があります。

ここでは、UR都市機構がつくった施設のあかりを紹介します。

ココネ上福岡

駅前の求心力をつくる光

所在地 埼玉県ふじみ野市
管理開始 平成18年
用途 複合商業施設・共同住宅 237戸
照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所
受賞 北米照明学会賞 Award of Merit 2007



地域の歴史を物語る「舟運」をデザインモチーフに設計した「ココネ上福岡」では、「上福岡の表玄関としての求心力をつくる」、「人に優しい照明とする」、「経済性に配慮した照明計画とする」を基本方針とした照明計画を行いました。住宅棟頂部のライトアップや、EVホールと廊下の天井を照らす「縦の光」で建物の高さを強調し、周辺地域のランドマークとなる光を演出しています。

新宿アイランド

印象的な都市景観を演出する光

所在地 東京都新宿区
管理開始 平成7年
用途 複合商業施設
照明デザイン (株)ライティングプランナーズアソシエーツ
受賞 平成7年照明普及賞 優秀施設賞



オフィスや店舗をはじめ、住宅、専門学校、広場などの都市機能をあわせ持つ「新宿アイランド」。真っ赤な「LOVE」のオブジェはドラマの撮影に使われるなど、新宿アイランドのシンボルとして定着しています。

夜間はライトアップを施して、印象的な都市景観を演出しています。冬季には広場のイルミネーションが行われ、色とりどりの光がにぎわいと楽しさを生んでいます。

ミューザ川崎

川崎の顔となる夜間景観をつくる光

所在地 神奈川県川崎市幸区
管理開始 平成15年
用途 複合商業施設
照明デザイン (株)近田玲子デザイン事務所
受賞 平成15年照明普及賞 優秀施設賞



「ミューザ川崎」は、「川崎の魅力ある顔作り」をコンセプトに、「シンボル性の創出」、「周辺環境との調和」、「まちの記憶の継承」をテーマに計画されました。照明計画は、川崎駅西口の顔となる夜間景観形成をテーマに、視点場(ビューポイント)に配慮したものとしています。また、コリドール(写真)では、天井から吊ったフレームワークにLEDを組み込み、時間ごとに色が変わる演出をしています。

横浜アイランドタワー

歴史を伝える光

所在地 神奈川県横浜市中区
管理開始 平成15年
用途 複合商業施設



歴史的建築物である旧横浜銀行本店別館(元第一銀行横浜支店)の保存・復元を行うとともに、新たな建物のデザインを調和させた「横浜アイランドタワー」。1929年に建設されたこの建物は、関東大震災復興期における典型的な銀行建築です。この意匠的な特長を際立たせるため、建物のシルエットが浮かび上がるようにライトアップをしています。

あかりから受ける印象の違い

Column-4

色温度ということばをご存知ですか？

ろうそく、白熱電球、蛍光灯など、私たちが日常の暮らしのなかで接する様々な光源の色。また、朝日や夕日、日中に見る太陽光の色合いは、それぞれ異なって見えます。

この光源の色合いを、物理的、客観的な尺度で表したのが、色温度です。

照明計画においては、色温度の違いは、景観の雰囲気や左右する、大きな要素となります。色温度が高いと、青白っぽい光となり、さわやかで活動的な雰囲気を作ります。一方、色温度が低いとオレンジ色っぽい光となり、あたたかく落ち着いた雰囲気を作り出します。

一般に、色温度が高い(青白い)光は近代的なオフィスビル街やスポーツ広場などに向き、色温度が低い光は歴史的な建造物などに効果的だと言われています。

UR都市機構では、建物の用途に応じ、団地のデザインや周辺の雰囲気と合った色温度とるように心がけています。

色温度と色味の変化



ブルーモーメント

Column-5



ハートアイランド新田

太陽が沈んでから空が暗くなるまでのわずかな時間に訪れる、あたり一面が青い光に照らされてみえる現象をブルーモーメントといいます。

このブルーモーメントの時間帯は、色温度の低いオレンジ色のあかりが一番きれいに見える時間帯です。

天気が良くて雲のほとんど無い、空気の澄んだ日にだけ現れるブルーモーメント。時間が経つにつれブルーモーメントの青色は暗くなり、夜の暗闇に変わっていきます。

自然のあかりと団地のあかりが織り成す光景は、とても印象的な美しさです。

西国分寺ライフタワー

都市から自然へ「都市と武蔵野をつなぐ」光

所在地 東京都分寺市
 管理開始 平成18年
 用途 共同住宅237戸
 照明デザイン (有)内原智史デザイン事務所



「西国分寺ライフタワー」では、都市の心地よい刺激のある光と武蔵野を感じるあたたかい静かな光をイメージして照明計画を行いました。建築デザインと連動・融合した光環境を演出しています。

河田町コンフォガーデン

都心型居住のためのアーティファクトな光環境

所在地 東京都新宿区
 管理開始 平成15年
 用途 共同住宅705戸
 照明デザイン (株)ライティングプランナーズ アソシエーツ



光の「安全性」に加え、「情報性」、「快適性」、「祝祭性」という視点により、より質の高い夜間景観の創造を試みました。「人に優しい光」、「あたたかい色を基調とした光」、「緑と人肌が美しく見える光」を重視した計画としています。

コンフォール稲毛小仲台

海の波をイメージしたあかり

所在地 千葉県千葉市稲毛区
 管理開始 平成20年
 用途 共同住宅180戸



やわらかくあたたかい光の照明器具を採用して、心地よい明るさを感じられる計画としています。アクセントとして、海の波をイメージしたモニュメントにブルーのLEDのフットライトを埋め込み、海の「青」を演出しました。

パークシティふれあいのまち

柔らかな光のオブジェ

所在地 大阪府大阪市此花区
 管理開始 平成17年
 用途 共同住宅172戸
 照明デザイン (有)ライトデザイン



憩いと語らいの場として、開放感あふれる芝生の「ふれあいパーク」を設けました。芝生の中に白い柔らかな光を放つガラスのオブジェをレイアウトし、あたたかいふれあいの夜間景観を演出しています。

アクティ汐留

Bio-をイメージさせる多様なライトヒーリング

所在地 東京都港区
 管理開始 平成16年
 用途 共同住宅683戸
 照明デザイン (株)ライティングプランナーズ アソシエーツ



「安全で快適な光環境」と「アクティ汐留の特徴的な光」をコンセプトに照明計画を行いました。ステップのブルーのLED、スロープのLEDを埋め込んだボラード、樹木のライトアップという3つのあかりによる演出をしています。

ひばりが丘パークヒルズ

緑に囲まれた、あたたかいまち

所在地 東京都西東京市、東久留米市
 管理開始 平成16年
 用途 共同住宅942戸(平成21年3月現在)



「緑との共生」と「あたたかな雰囲気づくり」をコンセプトに照明計画を行いました。住棟のエントランスには、オレンジ色のLEDでライトアップしたベンチを設置。帰宅した人を迎えるあたたかな雰囲気を演出しています。

アクシオス千種

潤いと癒しのあかり

所在地 愛知県名古屋市中区
 管理開始 平成16年
 用途 共同住宅266戸
 照明デザイン (有)ライトデザイン



「アクシオス千種」の庭園エリアでは、間接照明や樹木へのライトアップによる照明計画を行いました。アクセントとなるブルーのLEDとあいまって、落ち着きと潤いのある癒しの空間となっています。

アーベイン大浜

博多の伝統を受け継ぐあかり

所在地 福岡県福岡市博多区
 管理開始 平成18年
 用途 共同住宅70戸



「歴史ある下町文化の根づくまち 大浜のあたたかいひかり」をコンセプトに、光源の色をあたたかい色に統一。博多の伝統的な祭事「山笠」をイメージしたデザイン照明により、歴史ある街並みを演出しています。

照明関係受賞一覧

年度	受賞名	主催者	受賞物件名	所在地
H19	北米照明学会賞 Award of Merit 2007	北米照明学会	ココネ上福岡	埼玉県 ふじみ野市
H18	北米照明学会賞 Award of Merit 2006	北米照明学会	東雲キャナルコートCODAN	東京都 江東区
H17	平成17年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	プロムナード荻窪	東京都 杉並区
H17	北米照明学会賞 Paul Waterbury Award of Excellence 2005	北米照明学会	ハートアイランド新田一番街	東京都 足立区
H17	2005年度グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門金賞	(財)日本産業デザイン振興会	東雲キャナルコートCODAN	東京都 江東区
H16	平成16年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	東雲キャナルコートCODAN	東京都 江東区
H15	平成15年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業「ミュージア川崎」	神奈川県 川崎市
H14	平成14年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	アクティ三軒茶屋	東京都 世田谷区
H11	平成11年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	ヴィータ聖蹟桜ヶ丘	東京都 多摩市
H10	平成10年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	アーバニア志賀公園	愛知県 名古屋市
H7	平成7年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	幕張新都心	千葉県 千葉市
H7	平成7年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	シーリアお台場三番街	東京都 港区
H7	平成7年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	印西牧の原駅舎	千葉県 印西市
H7	平成7年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	アイランドパティオ	東京都 新宿区
H6	平成6年照明普及賞 優秀施設賞	(社)照明学会	ファーレ立川	東京都 立川市

本冊では、UR都市機構が行ってきた夜間景観への取り組みを紹介いたしました。美しい「あかり」には、その建物や空間に訪れる人々に価値の高い、快適な時間を提供し、日々の暮らしを豊かにする力があると、私たちは考えています。「団地」を、より豊かで魅力的なものにしたい。団地に住まう人々だけでなく、地域の人々にとっても、団地が心に残る原風景であってほしい。私たちがつくる団地を通じて、その団地をとりまく都市が、環境や景観に配慮され、活力に満ちあふれ、そしてその都市で生活するすべての人が生き生きと輝くことができる都市になるように、私たちは願っています。私たちはこれからも、人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースしていきます。

発行：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理室 設備計画チーム
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー
TEL.045-650-0091 www.ur-net.go.jp

企画：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理室設備計画チーム 田中
協力：独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理室設計計画チーム 菊地・阿部
製作：(株)URリンケージ
デザイン：氏デザイン(株)
写真：©太田拓実(P1-6, 11-14, 19-22, 27, 33-34)
©金子俊男(P7, 10, 16, 18下, 30, 31左上・右上)
©(株)ライティングプランナーズ アソシエーツ(P9下)
©フォトオフィスだげえる(P23上)
©Kouji Horiuchi(P29左上)
©武耕平(P29右上)

発行日：2009年7月

団地 × あか」

街に、ルネッサンス



UR

UR都市機構

